「企業版ふるさと納税マッチング支援業務」企画提案仕様書

1 業務の名称

企業版ふるさと納税マッチング支援業務

2 業務目的

当市では、令和2年3月31日付で地域再生計画スケートボードの聖地「むらかみ」セカンドプロジェクトの認定を受けており、地方創生応援税制(以下、「企業版ふるさと納税」という。)を活用した寄附の受け入れが可能になっている。

本業務は、まち・ひと・しごと創生 第2期村上市総合戦略(以下、「総合戦略」 という。)に係る地方創生事業について、貴重な自主財源を獲得しながら、積極的 に推進していくため、事業者独自のネットワークやノウハウを活かし、企業版ふる さと納税を活用した取り組みを効果的に実施することを目的とする。

3 業務内容

本業務の受託者は、次のいずれか、または複数の手法の組み合わせにより、企業版ふるさと納税による寄附獲得を目指す。ただし、(1)の業務は必須とする。

- (1) 企業版ふるさと納税による寄附を行う見込のある企業(以下、「寄附見込企業」という。) に対する当市のプロジェクト(別表)の紹介。
- (2) 寄附見込企業の新規開拓及びアプローチ
- (3) 当市への寄附見込企業の紹介。
- (4) 総合戦略に基づいた地域課題解決に資する、企業版ふるさと納税活用可能事業の企画提案や助言。
- (5)前各号のほか、当市の寄附獲得に資する支援。

4 業務上の注意事項

- (1) 業務内容の詳細は、企画提案の内容を基本とし、村上市と受託者が協議して決定すること。
- (2) 本仕様書に疑義を生じた場合は、あるいは定めのない事項については、村上市と受託者が協議して決定すること。
- (3)受託者は、本業務の一部又は全部の実施を第三者に委託し、又は請け負わせることをしてはならない。ただし、業務を効率的に行う上で必要と認める時は、市の承認を得た上でその一部を委託することができる。
- (4)本業務を通じた寄附は、別途示す「企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)寄 附申出書」の寄附企業から本市への提出を原則とする。また、本業務を通じた寄附 の証明として、「「受託者名」による紹介が寄附の契機になったか」という主旨の 設問を設けることとする。

4 委託業務期間

契約締結の日から令和6年3月31日まで

5 業務報告

受託者は、業務の進捗に応じて定期的に当市に対し報告を行うこととし、報告内容 及び報告頻度等は、企画提案内容を踏まえた上で受託者との協議により定めるもの とする。

6 支払時期

支払時期は、受託者との協議により支払いを行うものとする。

別表 令和5年度 企業版ふるさと納税活用プロジェクト

別表 令和5年度 企業版ふるさと納税活用プロジェクト		
事業名	事業概要	寄附目標額
スケートボード	村上市スケートパークを核として更なる選手	120,000千円
の聖地「むらか	育成を進めながら、子どもや若者がトップアス	
み」セカンドプ	リートとなる夢をかなえることを応援していく	
ロジェクト	とともに、利用者の裾野を広げ、若者が集い、	
	にぎわいや交流が生まれ、しごとの創出と地域	
	経済の振興につながる地域活性化が図られるこ	
	とを目的とする。	
	知させたこうし 勿形 セー・ローフラ	
	・初心者クラスと経験者・上級者クラス、アス	
	リートクラスに分け、技術に応じた選手育成を	
	行うことで、各自の技術に合わせた指導を行い	
	ながら、目標や夢づくりと村上市スケートパー	
	クの継続利用・愛好家の増加を行う。また、タールンと業の性道者よりて活躍できる場の環境教	
	レント業や指導者として活躍できる場の環境整備を行う。	
	・市主催の大会を実施し、教室参加者を中心に	
	成果披露と技術の向上を目標とする。また、国	
	内メジャー大会を開催することにより、市外か	
	らの参加者や選手家族、観覧者による交流人口	
	の拡大、地域振興を図る。	
	・国内、海外合宿の誘致により、本施設の有効	
	活用と知名度向上を図るとともに、隣接する温	
	泉地域を活かしながら、地域全体としてスケー	
	水地域を招かしなから、地域主体としてスケートボード選手の育成を図る。	
	[[전 [[歷구 [[[전 [전 [전]]]]]]]	

※企業版ふるさと納税活用プロジェクトは、令和5年4月1日現在の予定であり、 今後、事業名、事業概要、寄附目標額の変更のほか、事業の取り下げ、または事業を追加する場合がある。